

水を大切にする街「高松市」

# みんなの水



- ・引越し時の水道の使用中止と開始の手続き
- ・「第42回 水とわたしたち展」の作品募集
- ・上下水道モニターの募集
- ・上下水道局ホームページへの広告募集
- ・きれいな水を未来に

Vol.73 2014年2月15日発行

特集

## 市街地の地下に 雨水バイパス管が完成!

近年、短時間での大雨が頻繁に降るようになり、全国各地の市街地で都市型水害が多発しています。本市も例外ではなく、特に平成16年の台風23号では、住宅浸水や道路冠水などの大きな被害が発生しました。

現在、本市では、「高松市中心市街地浸水対策計画」(平成18年2月)に

基づき、街に流入する雨水を効率的に排出するための施設整備に努めています。

昨年8月、市街地東部での雨水バイパス管工事が完成しました。また、福岡ポンプ場では、バイパス管に流れ込む大量の雨水を河口に排出するポンプの増強工事も進めています。

### 都市型水害はなぜ起きるの?

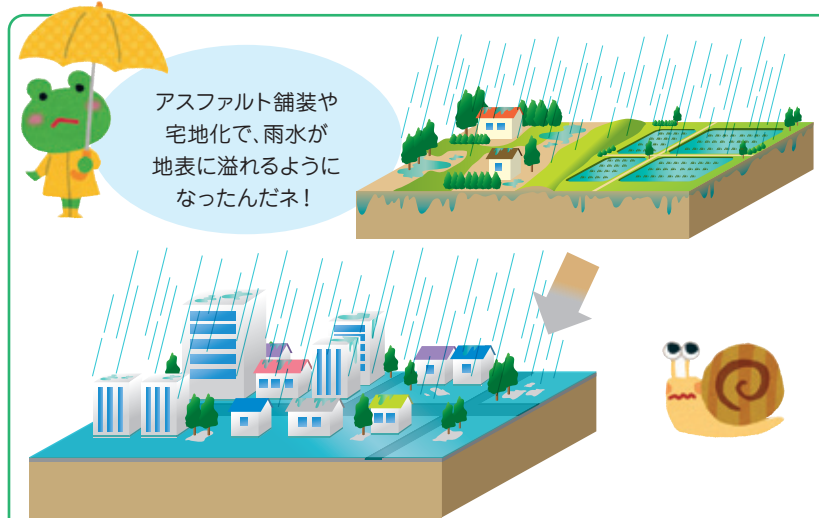
昔は、地表に降った雨が、舗装されていない道や水路、田畑などを通してゆっくり川に流れ込んでいました。

都市化が進んで、田畑がなくなったり地表面が舗装で覆われたりして、短時間に大量の雨水が流出するようになりました。下水道の対応能力を超えると雨水が地表に溢れることとなります。



人が入ってもこの通り。市街地の地下にある雨水バイパス管は、最大で内径3.5mのものもあります。(写真は内径2m)

↑バイパス管は、最も深い所で地下約15mに布設されています。



アスファルト舗装や宅地化で、雨水が地表に溢れるようになったんだネ!